

令和5(2023)年10月27日公表

令和5(2023)年12月25日改定(注1)

令和7(2025)年度 奈良女子大学 総合型選抜 探究力入試「Q」選考方法等について(予告)

令和7(2025)年度 奈良女子大学 総合型選抜 探究力入試「Q」において選考方法を変更する予定のある選抜単位は、現時点では下表のとおりです。また今後、下表以外にも諸事情により変更が生じることもあり得ます。その場合は、総合型選抜 探究力入試「Q」のウェブサイト(<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/index.html>)で公表します。

選抜単位		令和7(2025)年度入試における変更点	
文学部 (4つの探究テーマから1つを選択)		<ul style="list-style-type: none"> 探究テーマの指定図書や指定資料を変更します。2ページ参照。 探究テーマ「地域と環境の探究」において、「求める学生像」を一部変更します。2ページ参照。 	
理学部	数物科学科 (受験区分(数学科型, 物理型)を選択)	<ul style="list-style-type: none"> 要履修科目を新学習指導要領に対応する科目に変更します。3ページ参照。 提出書類(作文)に関する変更があります。4ページ参照。 	
	化学生物 環境学科	化学コース	<ul style="list-style-type: none"> 要履修科目を新学習指導要領に対応する科目に変更します。3ページ参照。 第2次選考の選抜方法を変更します。4ページ参照。
		生物科学コース	<ul style="list-style-type: none"> 第2次選考の選抜方法を変更します。4ページ参照。 第2次選考の試験時間を変更します。5ページ参照。
		環境科学コース	<ul style="list-style-type: none"> 要履修科目を新学習指導要領に対応する科目に変更します。3ページ参照。
生活環境学部	食物栄養学科	変更なし。	
	心身健康学科	<ul style="list-style-type: none"> 「小論文」及び第2次選考で利用する課題を変更します。5ページ参照。 	
	住環境学科	変更なし。	
	文化情報 学科	生活文化学コース	変更なし。
生活情報通信科学コース		変更なし。	
工学部	工学科	Q ² 型(スクエア)	変更なし。
		Q ³ 型(キューブ)	変更なし。

～令和7（2025）年度入試における変更点～

◆文学部◆

令和7（2025）年度入試における、4つの探究テーマの指定図書は、下記のとおりです。

[ことばと人間の探究]

指定図書：

- ・ 鴻上尚史『演劇入門—生きることは演じること』集英社新書，2021年
- ・ 北村紗衣『批評の教室—チョウのように読み、ハチのように書く』ちくま新書，2021年

[社会と人間の探究]

指定図書：

- ・ 山田昌弘『新型格差社会』朝日新聞出版，2021年
- ・ スウェーデン社会庁『人間としての尊厳—ノーマライゼーションの原点・知的障害者とどうつきあうか（第2版）』現代書館，2020年

[地域と環境の探究] ※指定資料なし

指定図書：

- ・ 宮崎雅人『地域衰退』岩波新書，2021年
- ・ 宇根豊『日本人にとって自然とはなにか』ちくまプリマー新書，2019年

[ならの探究]

指定図書：

- ・ 奈良女子大学文学部なら学プロジェクト編『大学的奈良ガイド—こだわりの歩き方』昭和堂，2009年
- ・ 奈良女子大学文学部なら学プロジェクト編『続・大学的奈良ガイド—新しい見どころ60編』昭和堂，2022年

探究テーマ [地域と環境の探究] において、「求める学生像」を、下記のとおり一部変更します。

【現 行】

求める学生像

- ・ グローバルかつローカルな視点を持ち，将来，社会・地域貢献や国際協力などの活動に関わろうとする人。
- ・ 人間と自然環境の関係について，文系・理系の枠組みにとらわれず，多面的な考察・思考ができる人。
- ・ フィールドワークを通じて，地域の諸問題に積極的に関わろうとする人。
- ・ 将来の大学院進学を視野に入れ，専門分野についてより深く探究しようという意欲のある人。

【変 更】

求める学生像

- ・ 地域が抱える課題や環境・災害に関する問題について，文系・理系の枠組みにとらわれず，多面的な考察・思考ができる人。
- ・ フィールドワークを通じて，地域の諸問題に積極的に関わろうとする人。
- ・ グローバルかつローカルな視点を持ち，将来，社会・地域貢献や国際協力などの活動に関わろうとする人。
- ・ (1項目削除)

◆理学部 数物科学科，化学生物環境学科（生物科学コースを除く）◆

新学習指導要領（平成30年告示高等学校学習指導要領）に対応するため，新教育課程履修者の要履修科目に，「数学C」を追加し，下記のとおりとします。

数物科学科

数车型：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C

物理型：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cと，

物理基礎・物理及び，（化学基礎・化学），（生物基礎・生物），（地学基礎・地学）の3組から1組

化学生物環境学科

化学コース：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cと，

（物理基礎・物理），（化学基礎・化学），（生物基礎・生物）の3組から2組

生物科学コース：指定科目はありません。

環境科学コース：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cと，

（物理基礎・物理），（化学基礎・化学），（生物基礎・生物），（地学基礎・地学）の4組から2組

・新教育課程履修者とは

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）に令和4年4月に入学し，新指導要領に基づく教育課程の下で学び，令和7年3月に卒業見込みの者
- ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し，新指導要領に基づく教育課程の下で学び，令和7年3月卒業見込みの者

なお，旧教育課程履修者等は現行（令和6（2024）年度総合型選抜）の要履修科目から変更ありません。

・旧教育課程履修者等とは

新教育課程履修者以外の者

- * 高等学校（中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）卒業生，高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）及び合格見込者，高等専門学校第3年次修了者及び修了見込者，外国の学校修了者及び修了見込者，文部科学大臣から認定又は指定を受けた在外教育施設修了者及び修了見込者，並びに令和7年3月までに高等学校を卒業する見込の者のうち，当該学校に令和4年3月31日以前に入学（中等教育学校後期課程に進級）した者等，新教育課程履修者に該当しない者

◆理学部 数物科学科◆

令和7(2025)年度入試における、提出書類「数学もしくは物理学に関して自分で考えた事柄に関する作文」を「数学もしくは物理学に関する作文またはレポート」に変更し、下記の内容とします。(様式は令和6(2024)年4月に公表します。)

「数学もしくは物理学に関する作文またはレポート」

- 数学もしくは物理学に関する作文またはレポートを、2ページ以上、5ページ以内(本ページを除く)で執筆してください。口述試験では、あなたが本欄に記載した事項に関連する質問も行います。
- ▶ 数学科受験区分を選択した場合には、あなたが数学に関して選択した題材について、数式、図、表などを用いて具体的に記述してください。題材は、例えば、
 - 1) 数学の教科書の発展事項、数学の書籍、公開講座などで興味を持ったこと
 - 2) 自分で成り立つことを見つけた等式や不等式、数や図形の性質、方程式の解き方、場合の数の数え方
 - 3) 理数系の部活動や校外の研究教育機関で実施されたスクール・キャンプにおける研究事項など、数学に関係するものであれば自由であり、高校の数学の学習範囲を超えていても構いません。
- ▶ 物理型受験区分を選択した場合には、あなたが物理学に関して選択した題材について、数式、図、表などを用いて具体的に記述してください。題材は、例えば、
 - 1) 物理学の教科書の発展事項、物理学の書籍、公開講座などで興味を持ったこと
 - 2) 自分で成り立つことを見つけた法則、物質の性質、自分で行った実験の結果とその考察
 - 3) 理数系の部活動や校外の研究教育機関で実施されたスクール・キャンプにおける研究事項など、物理学に関係するものであれば自由であり、高校の物理学の学習範囲を超えていても構いません。

◆理学部 化学生物環境学科 化学コース◆

令和7(2025)年度入試における、第2次選考の選抜方法について、下記のとおり変更します。

【現行】

資料をもとに与えられた課題についてのレポートの作成と面接により、総合的に判定します。

【変更】

資料をもとに与えられた課題についてのレポートの作成と口述試験により、総合的に判定します。

◆理学部 化学生物環境学科 生物科学コース◆

令和7(2025)年度入試における、第2次選考の選抜方法について、下記のとおり変更します。

【現行】

提示された生物実験の実施、結果のとりまとめ、および質疑応答(個別)により総合的に判定します。なお、実験では顕微鏡等の機器を用いる場合があります。

(実験・結果のとりまとめ(質疑応答を含む) 100点)

【変更】

提示された生物実験の実施、結果のとりまとめ、および面接により総合的に判定します。なお、実験では顕微鏡等の機器を用いる場合があります。(実験・結果のとりまとめ・面接 100点)

令和7（2025）年度入試における、第2次選考の試験時間について、下記のとおり変更します。

【現 行】

結果のとりまとめ（質疑応答を含む） 13:00～15:00 所要時間：120分

【変 更】

結果のとりまとめ・面接 13:00～

◆生活環境学部 心身健康学科◆

令和7（2025）年度入試における、「小論文」および第2次選考で利用する課題は下記のとおりです。

・生活健康学コース【課題名：生活環境と健康】

生活リズムは、心身の健康と密接に関係しています。あなたが考える健康的な生活リズムとはどのようなものであるのかについて、生活リズムが心身の健康に及ぼす影響との関連から考察してください。さらに、現代社会における生活リズムに関する問題点を挙げ、その改善策について考察してください。

・スポーツ健康科学コース【課題名：運動・体育・スポーツ】

近年の体育・スポーツの現場では、子どもの体力低下やスポーツ格差などの問題が生じています。これらの問題が生じる要因について具体例を挙げて説明し、改善策としてどのような取り組みが必要か、あなたの考えをまとめてください。

・臨床心理学コース【課題名：こころとからだ】

さまざまな分野でロボットが活用されるようになってきました。その中でも人との対話を目的としたロボットの開発例を挙げたうえで、ロボットとの対話が私たちのこころとからだに及ぼす影響について論じてください。

（注1）文学部、生活環境学部 心身健康学科の、令和7（2025）年度入試における変更点を追記しました。